

**基幹業務パッケージ
EXPLANNER/Ai 導入事例**

ナイカイ塩業株式会社 様

**180年以上続く塩事業と70年におよぶ化成品事業の販売・生産管理システムを統合。
同時に業務プロセスを見直し、効率化と見える化を実現。**



ナイカイ塩業株式会社
業務部長
大森 久雄 氏



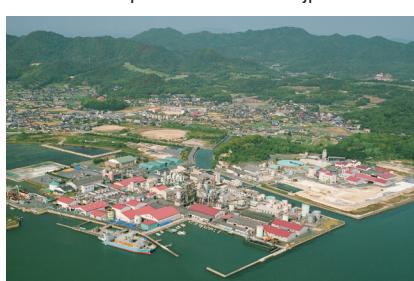
ナイカイ塩業株式会社
業務部 課長代理
井上 隆道 氏



ナイカイ塩業株式会社
業務部 係長
岡崎 吉秀 氏

ナイカイ塩業株式会社

社名：ナイカイ塩業株式会社
本社：岡山県倉敷市児島味野1-11-19
本社工場：岡山県玉野市胸上2721
創業：1829年(文政12年)
設立：1934年4月20日
資本金：1億8千万円
従業員数：130名
事業内容：塩製造・化成品製造
・不動産事業
U R L : <http://www.naikai.co.jp/>



概要

ナイカイ塩業株式会社様は瀬戸内の海水を利用し、塩と、水酸化マグネシウム・炭酸マグネシウムなどの化成品を製造・販売する会社です。180年以上の歴史を誇る同社では、新しいテクノロジーを取り入れることはもちろん、塩の専売制の廃止など法制度や市場環境の変化にも対応してきました。その一環として、塩事業と化成品事業の販売・生産管理システムをEXPLANNER/Aiで統合し、同時に業務プロセスの見直しも行いました。これにより販売や包装・配送を担うグループ会社との連携も強化し、さらなる成長を目指しています。

POINT

導入背景・課題

- 塩事業と化成品事業の特性の違いから別々のシステムを運用していたが、時代の変化に対応できずにムダを生んでいた。
- 塩製品に関して、専売制度時代に構築したシステムは不特定多数の顧客へ販売する機能を備えておらず、請求書作成業務を委託していた関連会社に負担がかかっていた。
- 自社だけで情報管理を完結できなかつたため、リアルタイムな情報把握ができず、経営の合理化の障害になっていた。

導入成果

- システムの統合により、塩事業と化成品事業の業務を標準化。社員の多能工化を可能にし、効率化と最適な人員配置を実現。
- グループ会社間での二重作業をなくし、工数とコストを削減。自社の強みを活かした販売・生産管理を実現。
- タイムリーな情報の“見える化”を実現したことにより、それぞれの現場での負担軽減と合理化を実現。

NECの提案

- EXPLANNER/Aiの導入により、塩事業と化成品事業の情報を一元化。実績収集などの迅速化を実現し、信頼性も向上。
- 品質検査指図、品質判定、出荷トレーサビリティをシステム化することで手入力や二重の作業にともなうミスを削減。
- BI(ビジネスインテリジェンス)ツール「InfoFrame Dr.Sum EA」(以下、Dr.Sum)を導入することで、多様なデータ分析を実現。さらに、管理帳票の削減(10分の1)や、必要な情報のリアルタイムな入手、事業部門ごとの各種データを統合した“見える化”を実現。

